



『デジタルビデオカメラ満足度調査』 満足度トップはパナソニック「愛情サイズ」

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:高野 潔)のリサーチ・メディア部門である「アスキー総合研究所」は、『デジタルビデオカメラ ユーザー満足度調査』を実施し、調査結果をまとめましたのでお知らせします。

製品を実際に使用した際、その使用感が期待どおりだったときの「満足感」、あるいは期待以下だったときの「がっかり感」について、詳細なアンケートを実施いたしました。今回調査したデジタルビデオカメラ(半導体メモリやハードディスクなど、磁気テープ以外の媒体に記録するビデオカメラ)は、運動会や旅行といった特定の用途だけでなく、日常的に広く、手軽に動画撮影を楽しむユーザーが増えており、また簡単にパソコン上で編集・ネットに公開できる環境が整ってきたことも相まって、今後成長が期待される製品分野です。

【1】総合満足度はパナソニック「愛情サイズ」がトップ

総合満足度トップ5ランキング

| 順位 | メーカー名 | ブランド名 | 総合満足度 (購入後) |
|----|--------|--------|-------------|
| 1 | パナソニック | 愛情サイズ | 74.2 ポイント |
| 2 | 三洋電機 | Xacti | 71.3 ポイント |
| 3 | ソニー | ハンディカム | 70.1 ポイント |
| 4 | キヤノン | iVIS | 64.3 ポイント |
| 4 | 日本ビクター | Everio | 64.3 ポイント |

画質やコストパフォーマンスに加えて、かつての「ブレンビ - 」以来営々とつちかってきた手ブレ補正機能などが高く評価されて、パナソニック「愛情サイズ」が総合満足度トップとなった。

【2】持ち運びのしやすさ、パソコン連携が製品選択の重視ポイント

購入時に重視した点(複数回答)については、大きさ・重さが58%で最も多く、またパソコンとの連携も36.7%と画質(33%)を上回っており、手軽に持ち運んで、簡単に編集できるかどうかポイント。

【3】ユーザーはさらなる長時間撮影を望む

不満点としてはバッテリー駆動時間の短さが目立つ。メディアの容量についてのコメントも複数あるが、メディアが大容量になっても、現状ではバッテリー駆動時間の制約からそれを活かせていない。

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 (TEL:03-6866-7338)

なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「アスキー総研調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

『デジタルビデオカメラ ユーザー満足度調査』

株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所

調査概要

- (1) 調査期間：2009年2月上旬
- (2) 調査方法：Webアンケート
- (3) 調査対象：アスキー総研アンケートモニター
(週刊アスキー、アスキー・ドットPC、ビジネスアスキー、マックピープル各誌読者など)
- (4) 有効サンプル数：751件
- (5) 対象カメラ：デジタルビデオカメラ（半導体メモリやハードディスクに記録するビデオカメラ）
- (6) 満足度とは：アンケートでは、各製品の個別の機能および製品全体について、購入決定時と購入後それぞれの評価を「とても良い」「良い」「ふつう」「悪い」「とても悪い」で表してもらい、順に100ポイント、75ポイント、50ポイント、25ポイント、0ポイントと数値化して集計した。また、購入後の総合的な満足度をその製品の総合満足度とした。

項目別満足度(総合満足度上位5シリーズの、主要な項目別の購入後満足度ランキング)

ホールド性・操作性

| 順位 | メーカー名 | シリーズ名 | 満足度 (購入後) |
|----|--------|--------|--------------|
| 1 | 三洋電機 | Xacti | 66.3 |
| 2 | キヤノン | iVIS | 64.3 |
| 2 | ソニー | ハンディカム | 62.8 |
| 4 | 日本ビクター | Everio | 60.2 |
| 5 | パナソニック | 愛情サイズ | 56.0 |

サイズや重量についての評価でも満足度トップだった三洋電機「Xacti」が首位。拳銃のように握って持つ「ガングリップタイプ」形状であることがその要因。

画質(画素数や色味など)

| 順位 | メーカー名 | シリーズ名 | 満足度 (購入後) |
|----|--------|--------|--------------|
| 1 | パナソニック | 愛情サイズ | 73.3 |
| 2 | ソニー | ハンディカム | 68.3 |
| 3 | キヤノン | iVIS | 63.0 |
| 4 | 三洋電機 | Xacti | 59.4 |
| 5 | 日本ビクター | Everio | 54.8 |

パナソニック「愛情サイズ」がトップ評価。次いで、パナソニックと共同でハイビジョン録画規格「AVCHD」を策定したソニーの「ハンディカム」が2位となった。

PCやWebとの連携のしやすさ

| 順位 | メーカー名 | シリーズ名 | 満足度 (購入後) |
|----|--------|--------|--------------|
| 1 | 三洋電機 | Xacti | 71.7 |
| 2 | 日本ビクター | Everio | 65.0 |
| 3 | ソニー | ハンディカム | 58.9 |
| 4 | パナソニック | 愛情サイズ | 57.8 |
| 4 | キヤノン | iVIS | 50.9 |

初期の製品から、SDメモリーカードやUSBでパソコンに簡単にデータを取り込めることを意図していた三洋電機の「Xacti」がトップ。

録画時間の長さ(メディア容量など)

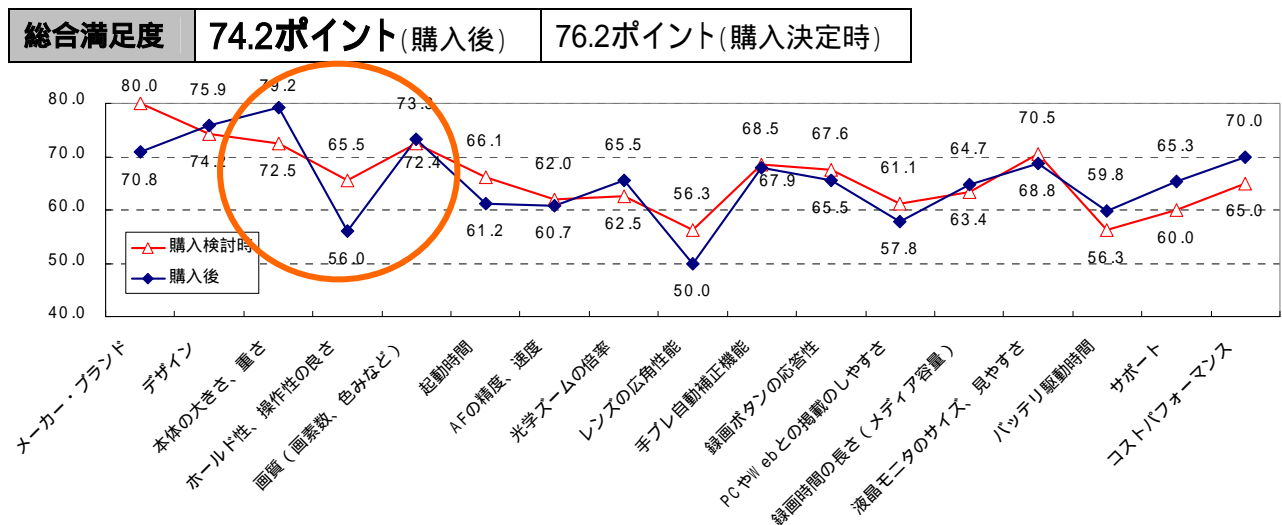
| 順位 | メーカー名 | シリーズ名 | 満足度 (購入後) |
|----|--------|--------|--------------|
| 1 | 日本ビクター | Everio | 70.5 |
| 2 | パナソニック | 愛情サイズ | 64.7 |
| 3 | 三洋電機 | Xacti | 63.2 |
| 4 | ソニー | ハンディカム | 55.8 |
| 4 | キヤノン | iVIS | 52.8 |

最近では他社もハードディスク搭載製品を発売しており、またSDメモリーカードの容量も増えてきているが、いち早くハードディスクを搭載したビクター「Everio」がトップ。

各シリーズの詳細な満足度

[1位] パナソニック「愛情サイズ」シリーズ

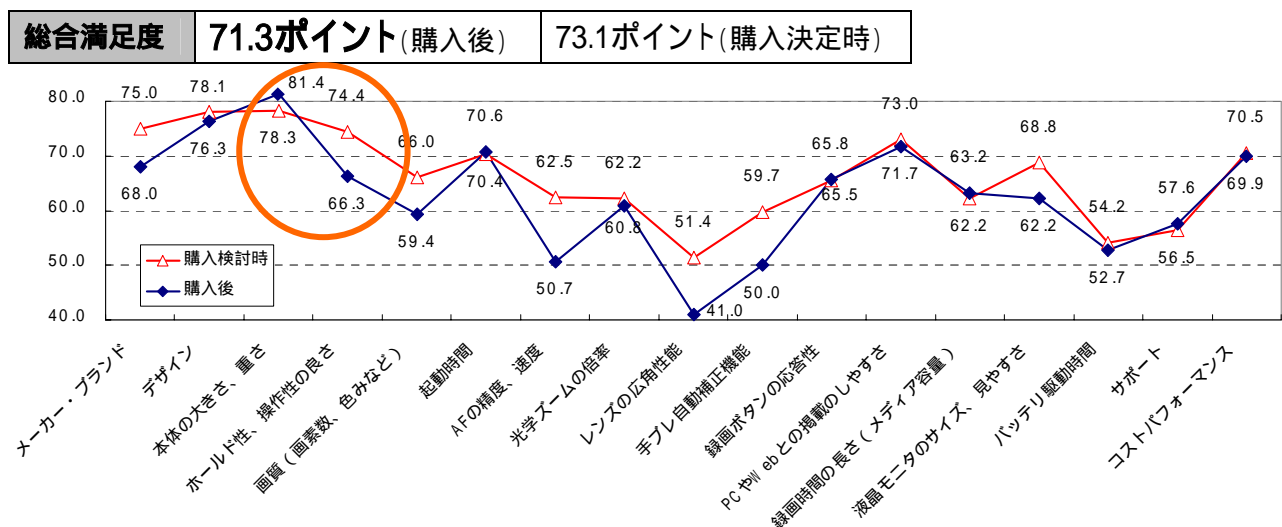
画質の良さや手ブレ補正がトップの決め手。日常的に持ち運べるサイズも好印象



画質や手ブレ補正機能についての満足度がトップで、本体の大きさ、重さについては購入後に満足度が大きく上昇しており、総合満足度はトップ評価となった。また、全体的に購入後の満足度の下落は小さい。これは、実際に使ってみたら購入前の想定とは違ったという「がっかり感」を持ったユーザーが少ないことを意味している。ただ、ホールド性、操作性の良さについては購入後に評価が下がっている。「小さいことは大変気に入ったが、(その小ささのために)各種設定は少し慣れが必要」(43歳男性)などが要因だと思われる。

[2位] 三洋電機「Xacti」シリーズ

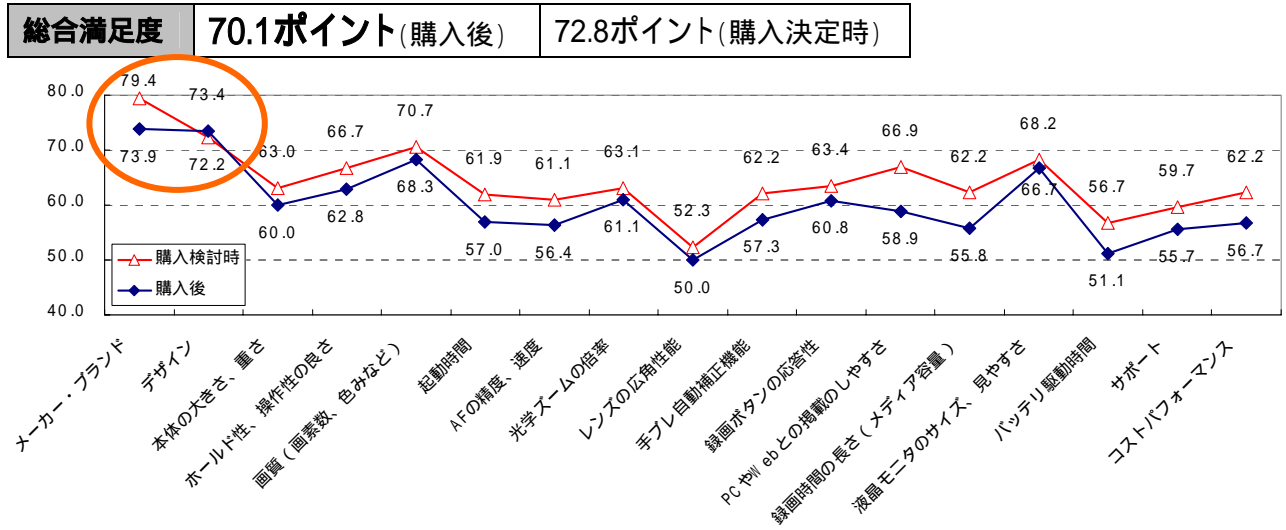
日常的な持ち運びに最適なサイズ・形状で、コンセプト通りに高評価



特徴的なグングリップ形状、ビデオカメラとしては安価で、画質よりも日常的に持ち運んで撮影できる楽しさを追求するといったコンセプトの「Xacti」。今回の調査でも、サイズやホールド性での評価は高く、日常的に持ち運んで撮影するユーザーは平均の約1.4倍、購入時に画質を重視した人は平均より3割少ないなど、コンセプトに近い結果となった。ただし、AF精度や広角撮影能力についてはやや不満を感じている。なお、Xactiで子どもの運動会を撮影するユーザーの比率は他機種と変わらず、運動会カメラとしても活用されている。

[3位] ソニー「ハンディカム」シリーズ

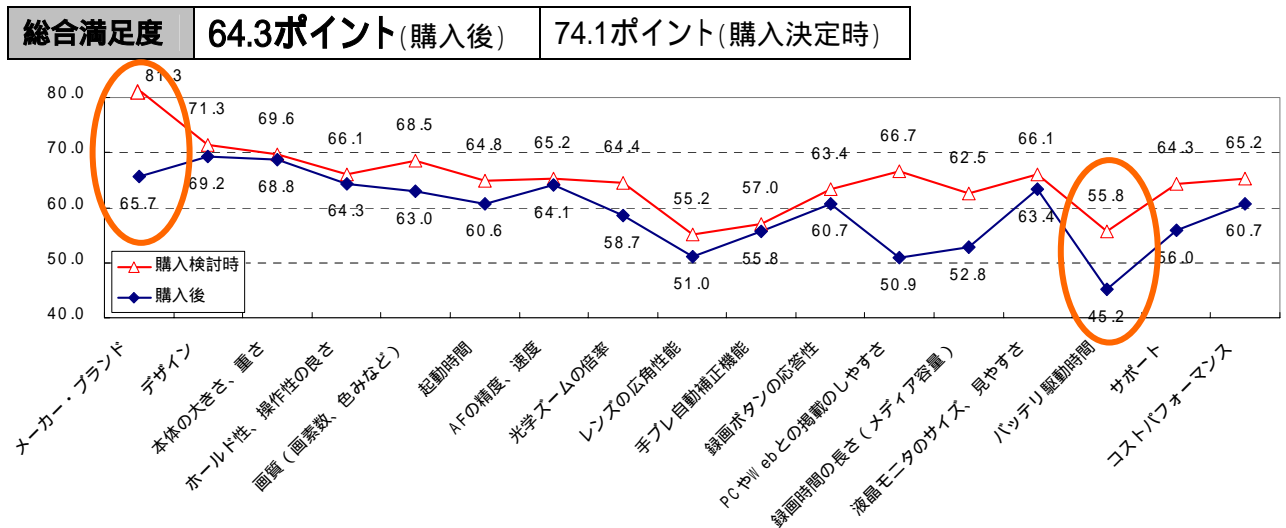
ブランド満足度はトップ。ビデオカメラとしての基本機能の評価も高い



ブランド、デザイン面での満足度は高い。特にブランド面ではトップで、8ミリビデオ時代からの「ハンディカム」というブランドへの評価が高いことがわかる。購入時にはブランドに加えて画質や操作性をユーザーは重視しており、他機種に比べてそれらの点での満足度は高い。ただし、メモリーカードに記録する機種の記録媒体については、「メモリースティックであるために、費用対効果が悪い」(34歳男性)などといった意見があった。なお、利用シーンとしては、運動会や旅行といったイベントで使うユーザーの比率が他機種より高い。

[4位] キヤノン「iVIS」シリーズ

レンズ周り的高評価はカメラメーカーならではの、バッテリー駆動時間にやや難点

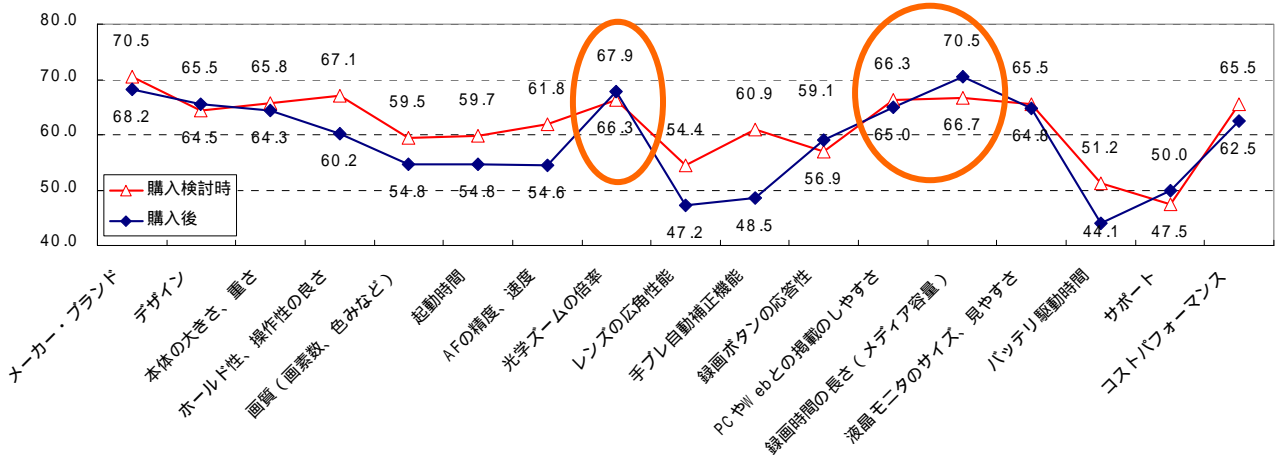


AFの精度、速度や、レンズの広角性能など、レンズ周りの満足度でトップ評価となったのは、カメラメーカーの面目躍如といえる。「これ以上は、プロ用の領域」(42歳男性)というくらい満足しているコメントもあった。ただし、メーカー・ブランドへの満足度は、購入決定時は81.3ポイントと今回の上位5シリーズ中で最も高かったのが、購入後には平均的な値になっている。録画時間やバッテリー駆動時間の購入後の満足度が下がっていることから、バッテリー駆動時間の短さが少なくともその要因の1つになっているようだ。

【4位】日本ビクター「Everio」シリーズ

メディア残量を気にしなくていい大容量ハードディスクにユーザーは満足

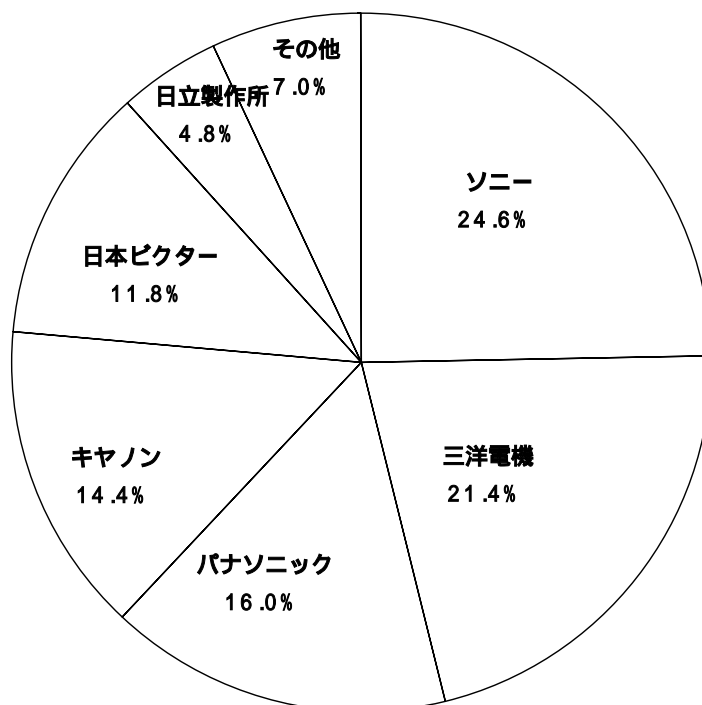
| | | |
|--------------|-----------------------|-------------------------|
| 総合満足度 | 64.3ポイント (購入後) | 72.7ポイント (購入決定時) |
|--------------|-----------------------|-------------------------|



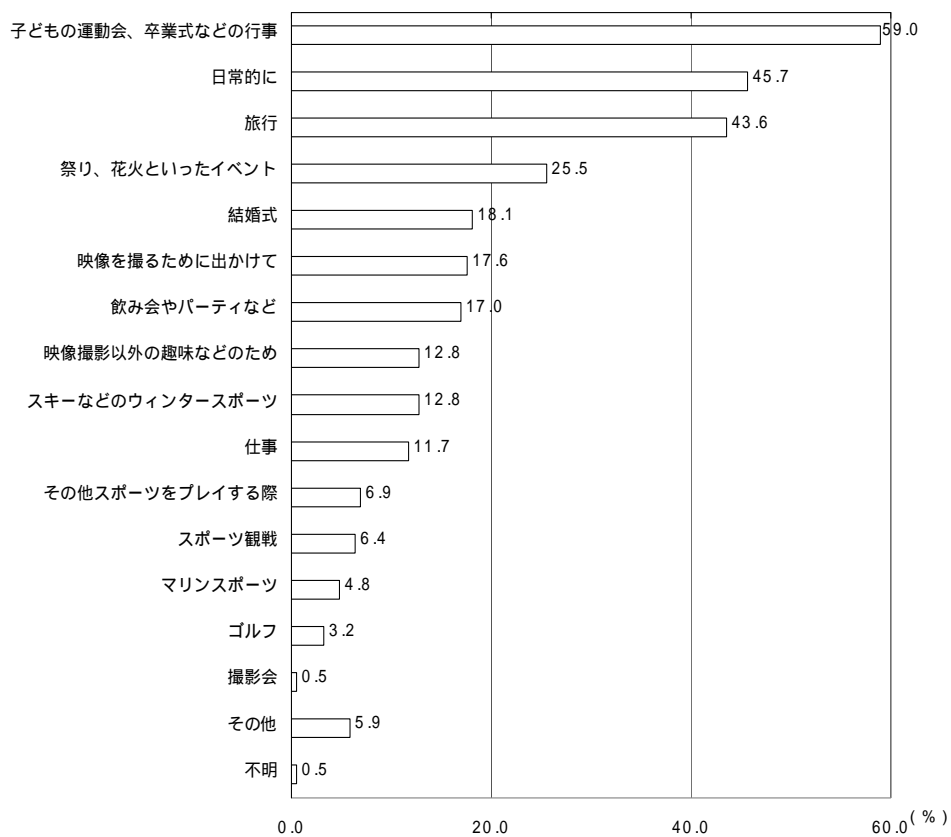
世界で初めて、記録媒体としてハードディスクを採用するビデオカメラをリリースしたビクター。現在でも30GB～120GBのハードディスク内蔵モデルがラインナップの軸で、メディア残量を気にせず撮れる安心感が満足度にも表れている。また、光学20倍、30倍といった高倍率ズームを積極的に採用していることへの評価も高いほか、パソコンとの連携についてもXactiに次ぐ満足度を得た。ただし、ハードディスクに大量に記録できる一方でバッテリー駆動時間の評価は低く、また画質や手ブレ補正といった点では平均的な満足度となっている。

調査対象者プロフィール

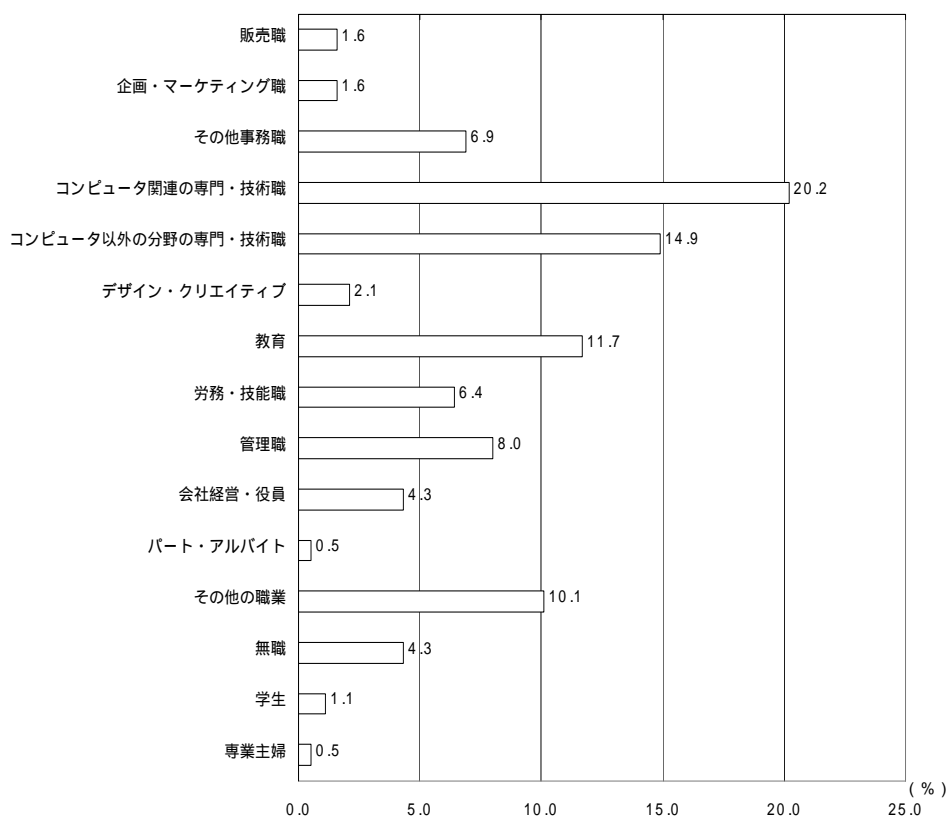
所有するデジタルビデオカメラのメーカー



主な利用シーン(複数回答)



職業



【アスキー総合研究所】 URL:<http://research.ascii.jp/>

アスキー総合研究所は、株式会社アスキー・メディアワークスの法人向けリサーチ・メディア部門です。コンテンツ、カルチャー、およびWeb、PC、携帯電話などによるコミュニケーションを対象として、法人向けに調査・分析データの販売を行っています。

〒160-8326 東京都新宿区西新宿4-34-7 住友不動産西新宿ビル5号館
株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338

【株式会社アスキー・メディアワークス】 URL:<http://asciimw.jp/>

出版を基盤としながら、コンテンツをクロスメディア、映像までメディアを超えてプロデュースするコンテンツ・プロデュース・カンパニーです。『アスキー』『電撃』という2つのブランドを軸として、(Entertainment) (Business) (Culture) という3つの事業領域にコンテンツを発信しています。

2008年4月、株式会社アスキーと株式会社メディアワークスが合併いたしました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338